

塩竈市公共施設再配置計画（素案）に関するパブリックコメント実施結果

1. 意見募集期間 平成30年8月8日(水)～8月28日(水)

2. 意見提出者 1人

3. 意見総数 4件

4. 提出された意見の内容とそれに対する市の考え方

No.	意見の内容(原文)	市の考え方
1	定量的評価の「配点」「重付係数」「評価点」についてなんの数値をベースに付けられた値でしょうか？	ご指摘いただいております「評価点」などの点数の数値根拠ですが、配点並びに重付係数については、公共施設マネジメントの先進地事例などを参考にしながら、市内部の策定委員会において決定したものです。 サービス評価については4項目、ハード評価は5項目により点数化しております。配点は5点満点とし、市が再配置を検討する上で重要と思われる項目について優先順位を決めて重み付けを行い、配点×重付係数により各項目の評価点を出しております。
2	目的は「維持更新費の削減」のはずですが、検討の指標が「延床面積ベース」になっているのはなぜでしょうか？ 「維持更新費ベース」の方が精度高いと思います。	基本方針である『公共施設等総合管理計画』では、歳入・歳出シミュレーションを行い、維持更新にかかる不足額を解消するためには施設総量として24%削減が必要であると延床面積ベースに置き換え目標として掲げております。 一方、『公共施設再配置計画(素案)』では、各施設にかかる維持更新費およびランニングコストを具体的に割り出し、再配置を計画どおりに実施した場合の効果を維持更新費ベースで試算しております。

3	<p>目標設定について、公的機関の推計は希望的観測が多く、甘いと感じています。24%縮減で大丈夫でしょうか？</p> <p>「根拠のない数値」や「あいまいな数値」を元に検討しているように見えます。可能な限り公平&amp;正当&amp;正確に検討する必要があると考えます。</p>	<p>シミュレーションの前提条件については前段でご説明したとおりとなりますが、補足しますと建物更新費用の考え方としては、総務省が推奨する一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団)が示した施設分類ごとの㎡単価を採用しておりますので一定の根拠のある数値を基にしております。(詳しくは『塩竈市公共施設等総合管理計画』P16～P21をご覧ください)</p> <p>しかしながら、この単価は一般的な建て替え費用、大規模改修費用の㎡単価を示したものとなっておりますので、個々の施設の状況などにより増減が想定されますし、また、各種設備の更新費用(空調設備、電気設備等)については含まれておりませんので、シミュレーションの域を出るものではありません。こちらの24%縮減はあくまで現段階においての情報を整理したものであることをご理解いただきたいと思います。また、背景となっている社会情勢の変化や、想定を超える人口減少なども起こりえますので、そのような場合について、総合管理計画・再配置計画ともに進捗状況や計画そのものを見直し・更新していくものとしております。</p>
4	<p>資料の品質が低いと感じます。どうにかなりませんか？</p> <p>資料を作成する過程にデータ解析できる人(統計学者、データサイエンティスト、データアナリスト等)が関わっていますか？</p>	<p>データ整理・解析については、委託コンサルと契約しデータをまとめております。</p>